

QR Translator ダッシュボード機能のご紹介

■ ダッシュボード機能とは

- コードへのアクセス情報をグラフ等で可視化して確認ができる機能です。

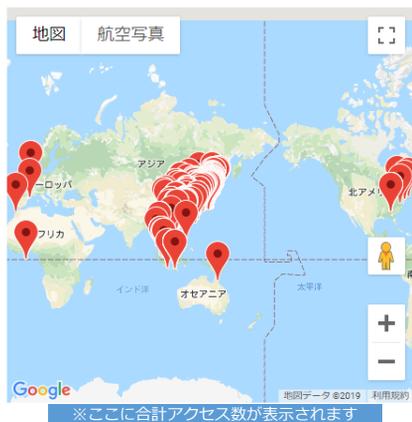
■ ダッシュボード機能の特徴

- 地域別、言語別、コード別、時間帯別など、それぞれの分析軸で表示が可能です。
- コードが掲載された商品のグローバルなマーケティングデータとして活用できます。
- 対象となるコードと集計期間を任意で指定可能です。
- 個人を特定するデータの収集は行いません。（個人情報保護法令への対応）
- 分析機能は随時、拡張していく予定です。

【QR Translator ダッシュボード機能一覧①～④】

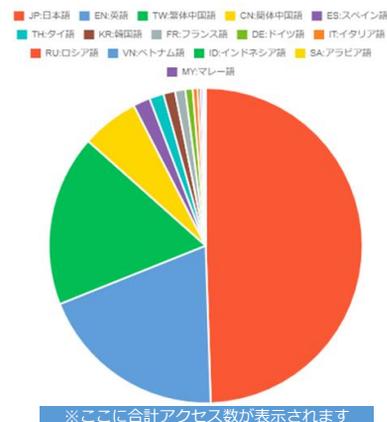
⑤～⑨は裏面記載

① QRTコードスキャン位置



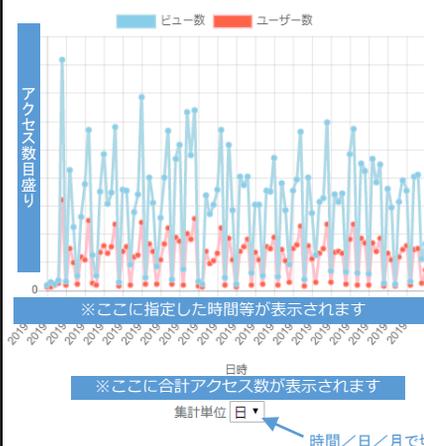
位置情報取得を許可した端末によるスキャン位置をピンで表示。URLがhttps://で始まるQRTコードのみ対応。

② 言語別ページビュー数



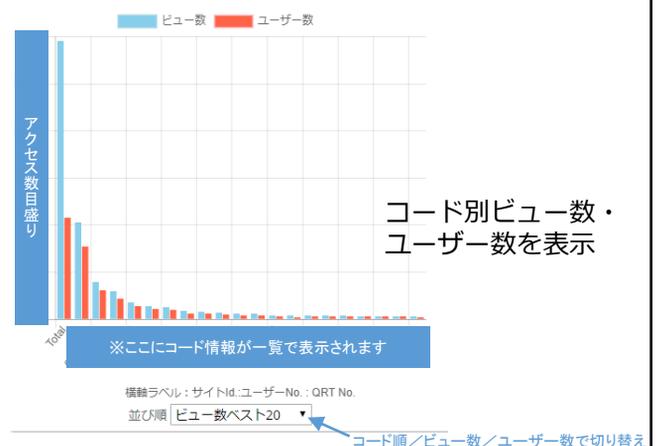
ページビュー全体の言語別の割合を表示。凡例の言語名部分をクリックするとグラフ上で表示/非表示の切り替えが可能。

③ ページビュー数・ユーザー数



[時間/日/月]単位別のアクセス数を表示。ユーザー数はブラウザ単位でカウントされ、同一ブラウザの場合は追加カウントされない。

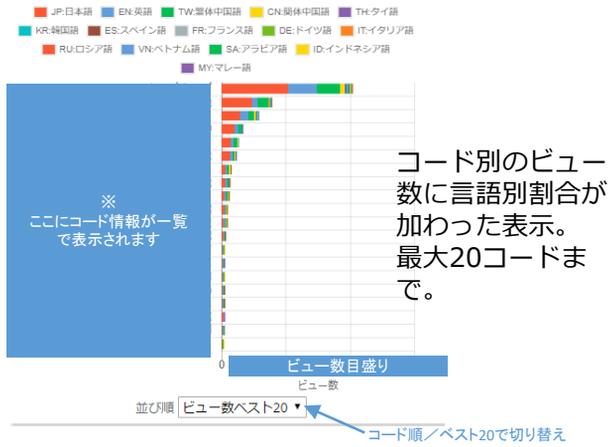
④ コード別ビュー数・ユーザー数



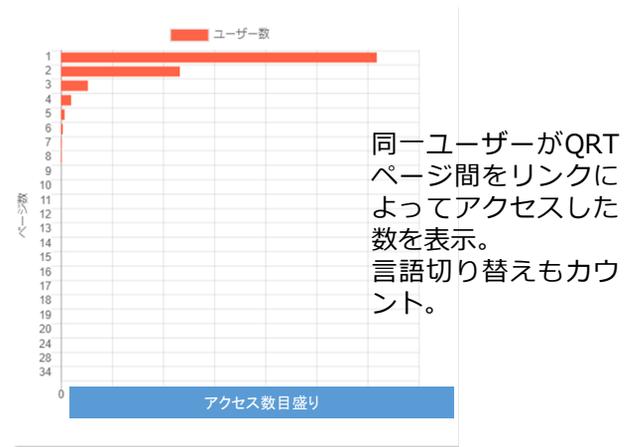
コード別ビュー数・ユーザー数を表示

【QR Translator ダッシュボード機能一覧⑤～⑨】

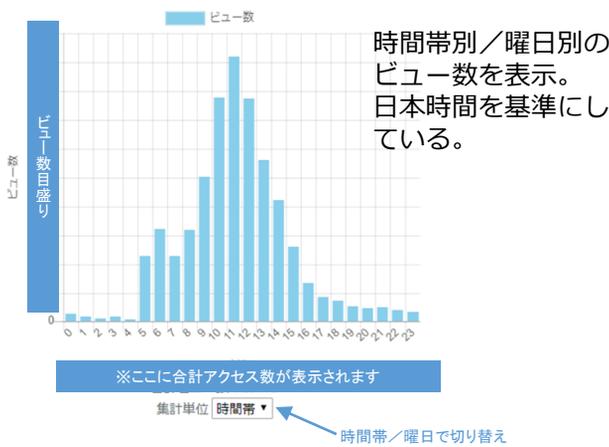
⑤ コード別言語ビュー数



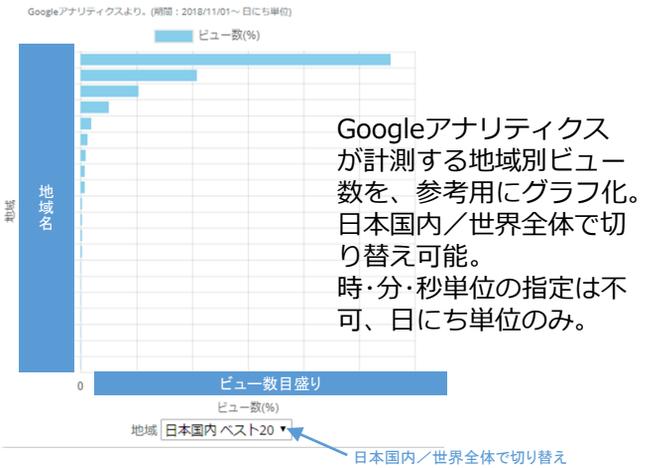
⑥ 訪問ページ数別ユーザー数



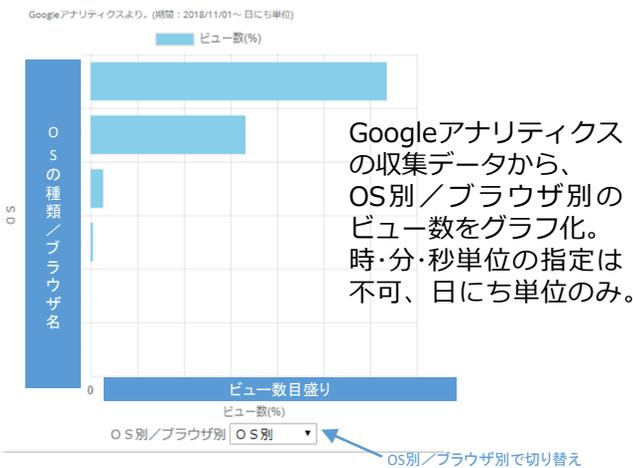
⑦ 時間帯別/曜日別ビュー数



⑧ 地域別ビュー数



⑨ OS別/ブラウザ別ビュー数



※一部非公開情報に関しては画像の上から修正しております